

令和3年度（2021年）

年報

山口県文書館

目 次

I 概要		9 地方調査員	18
1 沿革	2	(1) 地方調査員会議	18
(1) 設立	2	(2) 地方調査員の文書調査報告実績	18
(2) 年表	2	(3) 地方調査員名簿	18
2 組織	11	10 広報・普及	19
3 決算	11	(1) 広報活動	19
4 施設	11	(2) 第16回中国四国地区アーカイブズウィーク	19
		(3) 資料小展示	19
II 令和3年度業務報告		(4) 古文書入門講座	20
1 3年度概観	12	(5) 古文書基礎講座	20
2 収蔵状況	14	(6) 古文書錬成講座	20
3 調査	14	(7) 古文書発展講座	20
4 収集	14	(8) オンライン古文書読み合わせ会	20
(1) 諸家文書	14	(9) 文書館活用講座	21
(2) 行政文書	14	(10) SNS上でのくずし字解説	21
(3) 行政資料	15	(11) 歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議	21
(4) 図書雑誌	15	(12) 行政文書保存管理研修会	21
(5) その他(特設文庫)	15	(13) 歴史講座ライブ配信	21
5 整理	15	(14) ウェブサイト	21
(1) 藩政文書	15		
(2) 諸家文書	15	11 研究活動	22
(3) 行政文書	15	(1) 研究実績	22
(4) 行政資料	15	(2) 講演・研究会等	22
(5) 図書雑誌	15		
(6) その他(特設文庫)	15	III 令和4年度の計画	
6 保存対策	15	1 業務	24
(1) 修理(行政文書)	15	(1) 保存対策	24
(2) 資料燻蒸	15	(2) 刊行物	24
7 利用	16	(3) 普及活動	24
(1) 文書館利用状況	16	(4) 山口県公文書管理条例検討会事務局	25
(2) ホームページ利用者数	16	(5) その他	25
(3) 調査室(閲覧室)利用者数	16	2 職員	25
(4) 閲覧者数の状況	16	3 地方調査員	25
(5) 閲覧文書点数の状況	17	4 当初予算	25
(6) 特別利用の状況	17		
(7) 貸出	18		
8 刊行物	18		
令和3年度の刊行物	18		

I 概要

1 沿革

(1) 設立

当館は、昭和34年4月に日本で初めての公立文書館として発足した。設立には、次の要因があった。

- ① 昭和27年に旧萩藩主毛利家から藩政に関する「毛利家文庫」約5万点の史料が県に寄託され、同文庫の保存と公開の措置をとる必要があった。
- ② 昭和12年に設けられた県史編纂所（終戦時に閉鎖）において収集・謄写した史料3千点の保存と利用を望む声があった。
- ③ 県立山口図書館は、明治36年の開館以来、郷土資料室の充実につとめて多くの原文書を収蔵しており、その効率的な利用が望まれていた。
- ④ 県立山口図書館郷土資料室には、県政発足以来の行政文書も収蔵されており、今後の継続的な行政文書の収集・保存・活用を図る必要があった。

これらの要望を充たす施設として、文書館の設立構想が立てられた。さらに山口県地方史学会による設立運動も行われ、昭和34年「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく県条例によって設置された。

(2) 年表

昭和34年度 (1959)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
34.4.1	山口県文書館設置条例により県教育委員会の一組織として設立される
10.1	専任職員が配置される
12.18	書庫増築工事竣工（山口図書館）、引継文書の移管作業を開始
昭和35年度 (1960)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
35.4.1	閲覧業務を開始する
8.1	三浦家文書受託
11.30	「防長風土注進案12 山口宰判上」刊行
36.3.10	「防長風土注進案16 吉田宰判」刊行
昭和36年度 (1961)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
36.5.16	田中義一文書受託
6.15	「山口県文書館概要」刊行
6.15	「防長風土注進案1 大島宰判上」刊行
8.31	「防長風土注進案15 舟木宰判」刊行
10.30	山口県政発足九十年記念「明治初期県政史料展」開催
11.10	「防長風土注進案13 山口宰判下」刊行
12.10	「防長風土注進案2 大島宰判下」刊行
37.1.31	「防長風土注進案17 美祢宰判」刊行
3.30	「萩藩四冊御書附」刊行
昭和37年度 (1962)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
37.4.20	「防長風土注進案3 奥山代宰判」刊行
6.30	「防長風土注進案4 前山代宰判」刊行
8.8	徳山毛利家文庫受託
9.20	「防長風土注進案19 前大津宰判」刊行
11.5	学制頒布九十年記念「山口県教育史料展」開催（～11.9）
11.5	学制頒布九十年記念「山口県教育史料解説目録」刊行
12.10	「防長風土注進案5 上関宰判上」刊行
12.14	県庁行政文書年末収集開始

38. 2.10	「防長風土注進案 18 先大津宰判」刊行
3.30	「山口県文書館史料目録 1」刊行
昭和38年度 (1963)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
38. 4. 1	県行政文書の移管を開始（「山口県文書取扱規程」に基づく）
6.30	「防長風土注進案 6 上関宰判下」刊行
8.31	「防長風土注進案 7 熊毛宰判」刊行
10.25	国体開催記念展「目で見る山口県の歴史」を開催（～11.3）
10.25	「目で見る山口県の歴史」刊行
12. 19	山内家文書受託
39. 1.31	「防長風土注進案 20 当島宰判」刊行
3.10	「防長風土注進案 8 都濃宰判」刊行
3.26	山口県文書館条例が公布される（施行 39.4.1）
3.26	山口県文書館規則が改正される（施行 39.4.1）
3.31	山口県文書館設置条例が廃止される
昭和39年度 (1964)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>—7.5—木原立美<図書館長兼務>)
39. 5.31	「防長風土注進案 9 三田尻宰判上」刊行
7.20	「防長風土注進案 11 徳地宰判」刊行
9.20	「防長風土注進案 21 奥阿武宰判」刊行
10.17	近世交通史料展開催（～10.18）
12.10	「防長風土注進案 14 小郡宰判」刊行
40. 3.10	「防長風土注進案 10 三田尻宰判下」刊行
3.30	「山口県文書館史料目録 2」刊行
昭和40年度 (1965)	(館長 木原立美<図書館長兼務>)
40.6.1	山口県文書館規則一部改正
6.29	県教育委員会行政文書の移管を開始（「山口県教育委員会事務局文書取扱規程」の改正に基づく）
9.20	「文書館ニュース 1 号」刊行（以後年刊）
11.10	「豊浦藩村浦明細書」刊行
11.10	「文書館案内」刊行（以後不定期刊行）
41.3.30	「防長風土注進案研究要覧」刊行
昭和41年度 (1966)	(館長 兼清正徳)
41. 4. 1	山口県政史の編纂事業開始
5.10	廨に指定される
10.25	大村益次郎文書受託
11. 3	「防長風土注進案」の編集スタッフ、西日本文化賞を受賞
42. 3.30	「萩藩閥閥録 第 1 巻」刊行
昭和42年度 (1967)	(館長 兼清正徳)
43. 3.30	「萩藩閥閥録 第 2 巻」刊行
昭和43年度 (1968)	(館長 兼清正徳)
43. 4. 1	山口県文書館規則一部改正により、専門職員の職名が専門員となる
昭和44年度 (1969)	(館長 兼清正徳)
44. 4. 1	山口県文書館規則一部改正により、専門職員に研究職が適用される（職名は研究員・専門研究員）
45. 3.30	「萩藩閥閥録 第 3 巻」刊行
昭和45年度 (1970)	(館長 兼清正徳)
45. 4. 7	日本育英会法施行令の規定による研究所施設に指定される
46. 3.25	「山口県政史上・下」2巻刊行

3.30	「萩藩閥閥録 第4巻」刊行	
3.30	「萩藩閥閥録遺漏」刊行	
昭和46年度 (1971)		(館長 兼清正徳)
46.6.7	文部省史料館主催「近世史料担当職員講習会(西日本地区)」の会場となる	
7.1	地方調査員制度を発足させる	
47.3.1	「山口県文書館研究紀要 第1号」刊行(以後年刊)	
昭和47年度 (1972)		(館長 松村茂)
47.10.30	「山口県文書館史料目録3」刊行	
48.3.20	「山口県史料古代編」刊行	
昭和48年度 (1973)		(館長 松村茂)
48.7.23	新館舎が完成し、現在地に移転する	
7.23	新築移転記念「山口県文書館史料展」開催(～8.18)	
49.3.1	「山口県内所在史料目録 第1集」刊行(以後年刊)	
昭和49年度 (1974)		(館長 松村茂)
49.5.20	「山口県文書館史料目録4」刊行	
50.1.1	成人大学古文書解読講座に協力(以後平成11年度まで)	
昭和50年度 (1975)		(館長 田村武文)
51.1.20	「山口県史料近世編 法制上」刊行	
2.24	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(通称全史料協)の創立大会を開催	
昭和51年度 (1976)		(館長 田村武文)
52.1.10	「山口県史料近世編 法制下」刊行	
2.24	古文書・行政文書取扱者講習会(第1回)を開催	
昭和52年度 (1977)		(館長 田村武文)
53.2.22	古文書・行政文書取扱者講習会(第2回)を開催	
3.30	「山口県文書館史料目録5」刊行	
昭和53年度 (1978)		(館長 田村武文)
54.3.20	「山口県史料中世編 上」刊行	
3.20	「山口県行政文書仮目録戦前の部」刊行	
昭和54年度 (1979)		(館長 木梨亮一)
54.4.～11.	「萩藩閥閥録第1・2・3・4巻・遺漏」再版刊行	
5.～3.0	山口県古文書等所在確認緊急調査を実施	
10.17	全国都道府県史協議会を開催(～10.18)	
昭和55年度 (1980)		(館長 高佐原茂郷)
55.6.17	有光家文書受贈	
昭和56年度 (1981)		(館長 平田豊彦)
57.2.20	「防長寺社由来 第1巻」刊行	
昭和57年度 (1982)		(館長 松本隆馬)
57.10.20	「防長寺社由来 第2巻」刊行	
58.2.20	「防長寺社由来 第3巻」刊行	
3月	「防長風土注進案と同和問題」刊行	
昭和58年度 (1983)		(館長 山下義雄)
58.11.1	古文書解読(基礎)講座を開催(以後平成17年度まで)	
12.26	「防長寺社由来 第4巻」刊行	
59.2.20	「防長寺社由来 第5巻」刊行	
3.31	「両公伝史料仮目録」刊行	

昭和59年度 (1984)		(館長 山下義雄)
59. 6.12	県庁舎竣工記念展「目でみる萩から江戸へ」開催 (13日間)	
60. 1.16	「防長寺社由来 第6巻」刊行	
3.26	山口県文書館条例改正 (施行 60.4.1)	
3.26	山口県文書館規則改正 (施行 60.4.1)	
3.30	「県庁伝来旧藩記録等仮目録」刊行	
昭和60年度 (1985)		(館長 宮本幹雄)
60. 4. 1	副館長が置かれる (山口県教育委員会行政組織規則改正 60.3.29)	
10.29	有光家文書が県指定有形文化財に指定される	
61. 2.10	「防長寺社由来 第7巻」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅰ」刊行	
昭和61年度 (1986)		(館長 宮本幹雄)
61.10.15	「萩藩閥閥録 第1巻」三版刊行	
62. 1.10	「萩藩閥閥録 第2巻」三版刊行	
1.30	「府県史料 山口県 1」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅱ」刊行	
昭和62年度 (1987)		(館長 宮本幹雄)
62. 6.30	「萩藩閥閥録 第3巻」三版刊行	
11.11	「萩藩閥閥録 第4巻」三版刊行	
63. 1.14	「府県史料 山口県 2」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅲ」刊行	
昭和63年度 (1988)		(館長 斎藤 博)
63. 7.11	「萩藩閥閥録遺漏」三版刊行	
11.30	「府県史料 山口県 3」刊行	
64. 1. 2	「萩藩閥閥録 別巻」刊行	
3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅰ」刊行	
3.30	「山口県文書館要覧」刊行	
3.30	「年報」刊行 (以後年刊)	
平成元年度 (1989)		(館長 那須 敬)
元. 9.16	開館30周年記念展示会「むら・まち・うら」開催 (～10.15)	
10.10	開館30周年記念「絵図でみる防長の町と村」刊行	
11.30	「府県史料 山口県 4」刊行	
12. 3	開館30周年記念司馬遼太郎講演会「歴史の中の防長二州」開催	
2. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅱ」刊行	
3.30	開館30周年記念「山口県文書館の30年」刊行	
平成2年度 (1990)		(館長 那須 敬)
2. 4.11	皇太子浩宮殿下山口県中世史研究のため来館	
11.30	「府県史料 山口県 5」刊行	
3. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅲ」刊行	
平成3年度 (1991)		(館長 那須 敬)
3.11.30	「府県史料 山口県 6」刊行	
4. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅳ」刊行	
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 1940年代-1950年代」刊行	
平成4年度 (1992)		(館長 松永精一郎)
4. 5. 0	古文書専修講座を毎月開催 (以後毎年)	
6.22	有光家文書が国指定重要文化財 (古文書) に指定される	

8.13	古文書活用講座を開催（～8.19、以後毎年）
5.3.31	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅴ」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1940年代完結簿冊文書」刊行
平成5年度（1993）	（館長 松永精一郎）
6.3.31	「山口県文書館諸家文書目録1 柳井市金屋小田家文書第1分冊」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録2 リーフレット・ポスター1940年代～1960年代」刊行
平成6年度（1994）	（館長 山本 直）
7.3.31	「山口県文書館諸家文書目録2 柳井市金屋小田家文書第2分冊」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1930年代完結簿冊文書」刊行
平成7年度（1995）	（館長 山本 直）
8.3.29	「山口県文書館諸家文書目録3」刊行
3.29	「山口県文書館蔵行政資料目録3 地図 1950年代まで」刊行
平成8年度（1996）	（館長 宮本典彦）
8.6.25	山口県文書館整備構想検討会を開催（以後8.23、9.12、10.15の計4回開催）
11.20	山口県文書館整備構想検討会報告書作成
9.3.31	「山口県文書館諸家文書目録4」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1910・20年代完結簿冊文書」刊行
平成9年度（1997）	（館長 宮本典彦）
9.2.1	企画小展示「毛利元就関係文書」開催（～12月、毎月展示替え）
4.30	「大内版妙法蓮華経板木」が県指定有形文化財に指定される
10.2.1	文書館利用規程を改正
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録4 1960年代第1分冊」刊行
3.31	「山口県文書館諸家文書目録5 佐藤家文書」刊行
平成10年度（1998）	（館長 宮本典彦）
10.4.21	古文書入門講座を毎月開催（以後毎年）
6.30	「大内版法華経板木」59枚が国指定重要文化財（歴史資料）に指定される
11.1.21	第1回文書館ウィーク開催（～1.27）
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録5 1960年代第2分冊」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊1 公儀事諸控総目次Ⅰ」刊行
平成11年度（1999）	（館長 宮本典彦）
11.4.1	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会研修研究委員会事務局を引受け
12.1.20	第2回文書館ウィーク開催（～1.27）
3.23	山口県文書館規則第3条第1項改正（但書削除、土曜日全日開館）
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録6 1960年代第3分冊」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊2 公儀事諸控総目次Ⅱ」刊行
平成12年度（2000）	（館長 青木正典）
12.4.1	土曜日全日開館（9:00～17:00）を開始
13.1.18	第3回文書館ウィーク開催（～1.24）
3.30	「山口県文書館蔵行政文書目録 1900年代以前完結簿冊文書」刊行
平成13年度（2001）	（館長 青木正典）
14.1.18	第1回文書館デイズ開催（～1.20）
3.29	「山口県文書館諸家文書目録6 上関町吉田家文書」刊行
3.29	「山口県文書館蔵行政資料目録7 1960年代第4分冊」刊行
平成14年度（2002）	（館長 青木正典）
14.4.1	文書館資料保存修復事業・館藏品情報発信事業に着手（緊急雇用創出事業）

12.20	「山口県文書館特設文庫目録1 新聞文庫目録(近代)」刊行
15.1.17	第2回文書館デイズ開催(～1.19)
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録8 1940年代以前」刊行
3.31	山口県文書館ホームページ更新(文書館・博物館・美術館情報発信事業)
平成15年度(2003) (館長 村松優一)	
15.4.1	文書館収集資料整理事業に着手(緊急雇用創出事業、～16年度)
16.1.23	第3回文書館デイズ開催(～1.25)
2.10	「山口県文書館特設文庫目録2 雑誌文庫目録(近代)」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊3 諸事小々控総目次I」刊行
3.31	ホームページに画像データベース(毛利家文庫絵図・写真・袋入絵図・ポスター・リーフレット)を追加
平成16年度(2004) (館長 村松優一)	
16.10.27	第30回全史料協全国大会及び研修会を山口県総合保健会館で開催(～10.29)
10.29	山口県教育委員会事務局等公文書取扱規定の一部改正(11.1施行)
17.1.21	第4回文書館デイズ開催(～1.23)
3.31	「山口県文書館諸家文書目録7 上関町国行家・佐倉谷家・吉崎家文書」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録9 地図 1960年代」刊行
平成17年度(2005) (館長 木原 宏)	
17.6.9	山口県行政文書(県庁文書12,597点、郡役所文書952点)が国指定重要文化財(歴史資料)に指定される
6.10	第5回文書館デイズ開催(～6.12)
18.1.20	第1回「山口お宝展」(重要文化財「大内版法華経板木」を展示)開催(～2.12)
2.28	「毛利家文庫目録別冊4 諸事小々控総目次II」刊行
3.30	「山口県文書館蔵行政文書目録5 一郡役所文書」刊行
平成18年度(2006) (館長 木原 宏)	
18.6.1	第1回中国四国地区アーカイブズウィーク「山口県文書館史料刊行事業展」・「備後山内氏と一豊をめぐる人々」開催(～6.7)
10.8	日曜開館(月曜閉館)を試行開始
11.10	第6回文書館デイズ「御屋形様の文書ー雪舟のパトロン大内氏ー」開催(～11.12)
19.1.19	第2回「山口お宝展」(吉田松陰所用の印章)開催(～2.18)
3.30	「毛利家文庫目録別冊5 諸事小々控総目次III」刊行
3.30	「行政資料目録10 リーフレット・ポスター 1970年代～1980年代」刊行
3.30	「山口県内市町村役場文書保存状況調査報告書」刊行
平成19年度(2007) (館長 熊寄歳介)	
19.4.1	日曜開館(月曜閉館)開始
6.1	第2回中国四国地区アーカイブズウィーク「街道を行く」開催(～6.7)
10.4	徳山毛利家文庫・将軍発給文書を公開(閲覧提供)開始
11.5	国文学研究資料館アーカイブズ・カレッジ〈短期コース〉の会場となる(～11.10)
20.1.18	第3回「山口お宝展」(村上水軍関係文書)開催(～2.17)
3.31	「諸家文書目録8 平生町佐合島佐川家文書 第1分冊」刊行
3.31	「行政文書件名目録1 山口県布達達書I ー明治4～10年ー」刊行
平成20年度(2008) (館長 熊寄歳介)	
20.6.1	第3回中国四国地区アーカイブズウィーク「吉田松陰自賛肖像」開催(～6.8)
10.1	資料小展示「天璋院篤姫と長州ー文書の中の篤姫ー」(～11.16)
21.1.17	大学入試センター試験・日本史Aで当館のことが取り上げられる
3.21	第4回「山口お宝展」(鎌倉時代の塩浜絵図ー長門国正吉郷入江塩浜絵図ー)開催(～

4.19)

3.31 「諸家文書目録 9 平生町佐合島佐川家文書 第 2 分冊」刊行

3.31 「行政文書件名目録 2 山口県布達達書Ⅱ -明治 11~14 年-」刊行

平成21年度 (2009)	(館長 熊寄歳介)
(通年)	開館 50 周年記念として、資料小展示を「シリーズ アーカイブズを守る」という共通テーマで実施
(通年)	文書館情報発信充実事業
(通年)	全史料協事務局業務 (副会長 館長熊寄歳介)
21. 6. 2	開館 50 周年記念として、第 4 回中国四国地区アーカイブズウィーク「天下人と毛利氏-戦国のアーカイブズ-」を開催 (~6.9)
21.11.17	当館所蔵「吉田松陰関係資料」754 点が山口県指定有形文化財 (歴史資料) に指定
22. 3. 3	大内氏山口開府 650 年「山口お宝展」協賛展示 (「足利将軍の出した文書」~4.4)
3.31	「山口県文書館所蔵アーカイブズガイド-幕末維新編-」 (開館 50 周年記念出版刊行)
平成22年度 (2010)	(館長 熊寄歳介)
(通年)	文書館情報発信充実事業
(通年)	全史料協事務局業務 (副会長 館長熊寄歳介)
22. 6. 1	第 5 回中国四国地区アーカイブズウィーク「長州藩幕末維新資料」を開催 (~6.6)
8.8	行政文書保存管理研修会を開催 (102 機関 114 名参加)
10.15	国指定重要文化財 (歴史資料)「日明貿易船旗」と「高洲家文書」118 点が当館に寄託される
2.18	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (13 市町 30 名参加)
3.31	「行政文書件名目録 3 山口県布達達書Ⅲ -明治 15~19 年-」刊行
平成23年度 (2011)	(館長 熊寄歳介)
(通年)	文書館情報発信充実事業
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 23 年度~平成 25 年度)
23. 6. 1	第 6 回中国四国地区アーカイブズウィーク「ポスター・写真・映像に見る昭和のやまぐち~昭和 38 年山口国体のころ~」を開催 (~6.5)
8.19	行政文書保存管理研修会を開催
11.1	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催
11.14~ 2.29	館改修工事につき全面休館
3.31	ウェブページを全面的に更新し、検索データベースの件数を大幅に増やした
平成24年度 (2012)	(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 23 年度~平成 25 年度)
24. 6. 1	第 7 回中国四国地区アーカイブズウィーク「絵図と古文書で歩く萩往還」を開催 (~6.10)
9.10	行政文書保存管理研修会を開催
11.1	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催
1.31	毛利家文庫遠用物 (近世後期) の整理を終了し、8,933 点の閲覧提供を開始
平成25年度 (2013)	(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 23 年度~平成 25 年度)
25. 6. 1	第 8 回中国四国地区アーカイブズウィーク「山口県災害記」を開催 (~6.9)
10.1	1950 年代行政文書の閲覧提供開始
11.1	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (12 市町、県ほか 35 名参加)
3.15	徳山毛利家文庫絵図の整理を終了し、224 点の閲覧提供を開始

平成26年度 (2014)		(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 26 年度～平成 28 年度)	
26.5.31	第 9 回中国四国地区アーカイブズウィーク「美術とアーカイブズ～古文書に見る防長の美術工芸品～」(～6.8)	
6.13	1960 年代文書の閲覧提供開始	
9.2	1970 年代文書の閲覧提供開始	
10.31	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催	
11.7	行政文書保存管理研修会	
平成27年度 (2015)		(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 26 年度～平成 28 年度)	
(通年)	全史料協 (全国歴史資料保存利用機関連絡協議会) の調査・研究委員会事務局を引き受け (委員会 : 5/14 山口市、9/10 岡山市、11/11 大仙市) (～平成 28 年度)	
27.6.2	第 10 回中国四国地区アーカイブズウィーク「文書館動物記～書庫に棲む動物たち～」(～6.7)	
10.30	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催	
1.19	行政文書保存管理研修会	
平成28年度 (2016)		(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 26 年度～平成 28 年度)	
(通年)	全史料協 (全国歴史資料保存利用機関連絡協議会) の調査・研究委員会事務局を引き受け (委員会 : 5/11 山口市、9/1 山口市、11/9 津市) (平成 27 年度～)。また 8.31 に「平成 28 年度公文書館機能普及セミナーin 山口」を「歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議」と併せて開催	
28.6.1	第 11 回中国四国地区アーカイブズウィーク「いやす なおす たもつ～文書館資料にみる病気・医療・健康～」(～6.5)	
8.31	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (平成 28 年度公文書館機能普及セミナーin 山口)	
1.17	行政文書保存管理研修会	
3.27	徳山毛利家文庫 幕閣発給文書の閲覧提供を開始	
平成29年度 (2017)		(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 29 年度～平成 31 年度)	
29.4.1	WEB 版明治維新資料室を開始 (県立山口図書館と共同)	
.6.1	第 12 回中国四国地区アーカイブズウィーク「防長と海 ～その記録と記憶～」(～6.11)	
10.30	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (平成 29 年度中国・四国地区文書館等職員連絡会議と合同開催)	
10.30	当館蔵「朝鮮通信使記録」13 点をふくむ「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコ「世界の記憶」に登録される	
11.24	行政文書保存管理研修会	
平成30年度 (2018)		(館長 吹屋哲夫)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 29 年度～平成 31 年度)	
30.6.1	第 13 回中国四国地区アーカイブズウィーク「文書館レキシノオト～「音」で読み解く防長の歴史」(～6.10)	
5.28	行政文書保存管理研修会	
10.31	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催	
3.22	徳山毛利家文庫「木箱別置文書」の閲覧提供を開始	

令和元年度（平成31年度・2019）		（館長 吹屋哲夫）
（通年）	重要文化財 山口県行政文書修理事業（平成29年度～令和元年度）	
01.6.1	第14回中国四国地区アーカイブズウィーク・山口県文書館開館60周年記念「情報と記録～つたえる つなぐ 文書館～」を開催（～6.9）	
7.16	行政文書保存管理研修会	
10.31	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催	
3.5～26	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時閉館	
令和2年度（2020）		（館長 吹屋哲夫）
（通年）	重要文化財山口県行政文書修理事業（平成29年度～令和2年度） 旧市町村役場文書保存状況追跡調査	
4.14～5.24	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時閉館	
5～03.2	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定したすべての古文書講座を中止（02.9～10、03.1、オンラインでの古文書講座を試験的に実施。計6回）	
5.30～6.7	新型コロナウイルス感染拡大防止のため第15回中国四国地区アーカイブズウィーク「レッツエクササイズ～武芸・体育・スポーツと文書館資料～」関連行事をすべて中止	
6.1	Twitter、Facebookを開始	
10.30	第11回歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催	
令和3年度（2021）		（館長 吹屋哲夫）
（通年）	重要文化財山口県行政文書修理事業（平成29年度～令和3年度） 山口県公文書管理条例検討会事務局（総務部、学事文書課、社会教育・文化財課、文書館） 全史料協（全国歴史資料保存利用機関連絡協議会）の大会・研修委員会事務局（令和3～4年度）	
5～10	古文書講座を対面形式・オンライン形式で開催。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面形式は中止回あり。	
6.1～6.6	第16回中国四国地区アーカイブズウィーク「武芸・体育・スポーツと文書館資料～きたえる たたかう ととのえる たのしむ～」を開催。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインでのみ実施。	
8.25	公文書の管理に関するワーキンググループ（庁内WG）第1回会議	
8.26～9.26	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時閉館	
10.19	第1回山口県公文書管理条例検討会	
10.21	中国・四国地区文書館等職員連絡会議（オンライン）	
10.31	歴史講座ライブ配信テスト（第1回）	
11～04.2	オンラインでの古文書読み合わせ会、3コースを試験的に実施（各4回）	
12.21	公文書の管理に関するワーキンググループ（庁内WG）第2回会議	
1.9	歴史講座ライブ配信テスト（第2回）	
1.11	第2回山口県公文書管理条例検討会	
2.2	第12回歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催	
3.24	公文書の管理に関するワーキンググループ（庁内WG）第3回会議	

2 組織（令和3.4.1現在）

館長（1名）	副館長（1名）	専門研究員	（5名）
		総務	（兼務、2名）
		会計年度職員	（3名）
		地方調査員	（8名）

3 決算（一般会計、単位:千円）

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
12,467	13,045	13,603	12,568	7,655	3,253

4 施設

県立山口図書館・点字図書館等と併設、構造はRC

敷地面積 10,169 m²、延べ床面積 9,819 m²

文書館面積 1,232 m²（利用者ゾーン 209 m²、業務ゾーン 235 m²、書庫<地下2層・新書庫>）

図書館面積 7,855 m²、点字図書館面積 190 m²、レクチャールーム面積 542 m²

書架総延長 本館書庫 6.31km、春日山書庫 3.00km、計 9.31km

II 令和3年度業務報告

1 3年度概観

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月から9月にかけて約1か月間の臨時閉館期間を設けたほか、主要行事の多くが対面形式での開催を中止せざるをえなかった。その一方で、オンラインを利用したアーカイブズウィークの開催や、館公式Facebook、Twitterによる継続的な情報発信など、2年度に引き続きオンラインサービスの拡充に努めた。

また、3年度から「山口県公文書管理条例（仮称）」制定に向けての検討が開始され、事務局に文書館も加わった。

加えて、3～4年度、全史料協（全国歴史資料保存利用機関連絡協議会）の大会・研修委員会事務局を担当することとなった。

今年度の状況を概観すれば以下のとおりである。

アーカイブズウィーク

6月1日～6日に第16回中国四国地区アーカイブズウィーク「武芸・体育・スポーツと文書館資料～きたえる たのしむ たたかう ととのえる～」を開催した。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため対面形式の行事は実施せず、オンラインコンテンツの配信のみとした。→P19

調査活動

地方調査員制度による県内史料所在調査への協力助言等を行った。

また、行政文書引継ぎに先立ち選別作業のための調査を継続実施した。→P14・18

諸家文書の寄贈・寄託

9家から追加分を含めて2,495点の寄贈・寄託を受けた。→P14

行政文書・資料の引継ぎ

県庁各課等から行政文書1,627点、行政資料1,049点を引き継いだ。→P14・15

整理・保存対策

寄贈・寄託を受けた新収諸家文書の整理を進め、整理の終わったものについては逐次閲覧に供した。また藩政文書、行政文書、行政資料、図書の整理も進めた。→P15

資料の活用と保存を図るため、行政文書のうち損傷の顕著なものについて修理を行った。→P15

普及啓発事業

アーカイブズウィークのほか、以下の普及啓発活動を行った。

(1) 古文書講座

①「古文書入門講座」「古文書初級講座」「古文書錬成講座」「古文書発展講座」の4講座を開設し、各講座とも対面形式、オンライン形式の2部構成（午前・午後）で実施した（5～10月、各6回）。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面形式での開催は3回もしくは4回の開催に止まった。→P20

②文書館活用講座

教員対象の「授業で使える文書館活用講座」を8月に4日間実施した。→P21

③古文書読み合わせ会の試験的实施

今後のオンライン開催を見据えて、オンラインでの古文書読み合わせ会を試験的に実施した（3講座各4回）→P20

(2)歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議

公文書及び地域に伝存する文書記録類を歴史資料として保存活用することに関して、県及び市町相互の連絡と協調を図り、もって行政の円滑な推進及び文化の発展に寄与することを目的として、2月2日に第12回連絡会議を開催した。→P21

(3)行政文書保存管理研修会

学事文書課の情報公開制度及び個人情報保護制度実務研修会が新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止されたため、実施しなかった。→P21

(4)歴史講座ライブ配信の試験的実施

今後のオンライン開催を見据えて、オンラインでの歴史講座のライブ配信を試験的に実施した(10月・1月、計2回)→P21

(5)オンラインサービス

Twitter、Facebookでの情報発信、SNS上でのくずし字解説(ちょこっとくずし字)を実施するとともに、館ウェブサイトでの資料画像データの拡充などオンラインサービスの拡充に努めた。また、今後の業務展開を見据えて歴史講座のライブ配信を試験的に実施した→P19・20・21

利用者

新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休館期間があり、また、山口県をはじめ全国各地で緊急事態宣言が出されたことの影響を受け、今年度も閲覧者は1,072人(昨年度1,002人)、また、資料小展示の観覧者などを加えた入館者は2,449人(昨年度2,390人)に止まった。

閲覧者は、一般、学生、公務員、教員の順に多い。県外利用者はやや回復したものの全体の1/4に止まった(前年度は全体の1/5、前々年度は1/3)。

→P16・17

山口県公文書管理条例(仮称)制定にむけての検討

全庁統一的な公文書管理ルールの規定、特定歴史公文書の文書館への移管制度の確立などを図ることを目的に、3年度から「山口県公文書管理条例(仮称)」制定に向けての検討が開始された。外部有識者による「山口県公文書管理条例検討会」が設置され、事務局を総務部、学事文書課、社会教育・文化財課、文書館で構成した。

本年度は、公文書の管理に関するワーキンググループ(庁内ワーキング)3回、山口県公文書管理条例検討会2回が開催された。なお、検討会での資料、議事内容については、山口県庁ウェブサイトの学事文書課のページ「山口県公文書管理条例検討会について」に掲載されている。

2 収蔵状況

(令和 4. 3.31 現在)

藩政文書	諸家文書	行政文書	行政資料	図書	その他 (特設文庫)	総計
93,512	163,024	82,478	160,550	45,730	23,083	568,377

上記のうち、2年度新たに収蔵した資料の点数は、次のとおりである。

藩政文書	諸家文書	行政文書	行政資料	図書	その他 (特設文庫)	総計
0	2,495	1,627	1,049	456	315	5,942

3 調査

6月16日～2月24日

山口県農林総合技術センター（農業試験場・林業指導センター）文書調査。当センターの移転に伴う文書引継準備

12月16日

上関町役場文書調査

3月2日～30日

第21回国民文化祭やまぐち2006文書調査

4 収集

(1) 諸家文書

(ア) 寄贈

木村一人文書（追加） 1点

田中家文書（長崎県） 1点

長松家文書 24点

中村氏収集文書 661点

中山家文書（周南市） 429点

（計 1,116点）

(イ) 寄託

荒瀬家文書（防府市／追加） 35点

古畑家文書（追加） 13点

松元淳収集文書（追加） 1,323点

山根家文書（山口市／追加） 8点

（計 1,379点）

(2) 行政文書

各課（所）に廃棄予定文書の引継依頼・協議を行い、23か所から計1,627点を引き継いだ。引き継いだ文書の主なものは以下のとおり。

長寿社会課 320点

経営金融課 430点

議会事務局 140点

地方独立行政法人山口県産業技術センター 125点

- (3) 行政資料
冊子・リーフレット・ポスター類 1,049 点
- (4) 図書雑誌 456 点
- (5) その他（特設文庫）
次の資料を整理し、仮目録に追加登録した。
・一般郷土史料 315 点

5 整理

(1) 藩政文書

(ア) 徳山毛利家文庫

未整理の徳山毛利家文庫の整理をすすめた。

(2) 諸家文書

次の文書を整理し、仮目録を作成した。

荒瀬家文書（防府市／追加）	35 点	図書
木村一人文書（追加）	1 点	教員
田中家文書（長崎県）	1 点	大内氏
長松家文書	24 点	安芸国人／萩藩陪臣（右田毛利家臣）
中村氏収集文書	661 点	絵葉書
中山家文書（周南市）	429 点	町年寄（徳山藩領）
古畑家文書（追加）	13 点	コレクション
松元淳収集文書（追加）	1323 点	コレクション
山根家文書（山口市／追加）	8 点	桑名藩士

（計 2,495 点）

(3) 行政文書

令和 3 年度収集文書 1,627 点について整理し、仮目録を作成した。

(4) 行政資料

令和 3 年度収集資料 1,049 点について整理し、仮目録を作成した。

(5) 図書雑誌

令和 3 年度受入図書 456 点について、追加登録した。

(6) その他（特設文庫等）

令和 3 年度収集資料 315 点について整理し、追加登録した。

6 保存対策

(1) 修理（行政文書）

重要文化財山口県行政文書のうち損傷の著しい 2 冊（県庁戦前 A 士族 139「士族願伺」および県布達類 293「山口県報」）を修理工房宰匠株式会社（福岡県筑紫野市）に業務委託し修理した（国庫補助事業 県 50%）。

(2) 資料燻蒸

県立山口博物館・燻蒸庫での燻蒸（3 回）および山口図書館での燻蒸に併せて計 4 回実施した。

7 利用

(1) 文書館利用状況

開館日数 248 日（前年度 246 日）
 入館者 2,449 人（前年度 2,390 人）
 閲覧者 1,072 人（前年度 1,002 人）であった。

このうち、閲覧者の内訳と閲覧文書点数の状況は、以下（4）及び（5）のとおり。

(2) ホームページ利用者数

平成 15 年 4 月から供用を開始したホームページのアクセス件数は、令和 3 年度末現在で 2,979,716 件（この 1 年間では 712,901 件）となった（明治維新資料室アクセス数を除くと、全体で 2,746,862 件、1 年間では 480,847 件）。

(3) 調査室（閲覧室）利用者数

区分	入館者	閲覧者	特別使用区分	複写	絵図室	特別室	合計
R 03年度 (R02年度)	2,449 (2,390)	1,072 (1,002)	R 03年度 (R02年度)	773 (742)	43 (71)	38 (9)	854 (854)

(4) 閲覧者数の状況

職業		令和 3 年度				令和 2 年度	
		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)	比率 (%)	合計 (人)	比率 (%)
教員	大学	55	76	131	14.0	114	12.8
	小・中・高校	15	3	18		11	
	その他	1	0	1		3	
学生	大学院	14	56	70	28.3	49	29.6
	大学・その他	204	29	233		248	
公務員	国	8	8	16	14.0	5	17.7
	都道府県	36	10	46		71	
	市町村	72	15	87		101	
博物館・研究機関		10	13	23	2.1	20	2.0
報道・出版		22	6	28	2.6	18	1.8
その他一般		360	59	419	39.0	362	36.1
合計		797	275	1,072	100.0	1,002	100.0
前年度比 (%)		99.4	138.0	107.0	—	75.5	—
S44 年以來の累計				102,604	—	101,532	—

(5) 閲覧文書点数の状況

区分	令和3年度		令和2年度	
	点数(点)	比率(%)	点数(点)	比率(%)
毛利家文庫	5,164	48.5	3,261	40.7
徳山毛利家文庫	187	1.8	185	2.3
県庁伝来旧藩記録	341	3.2	235	2.9
山口小郡宰判記録	10	0.1	10	0.1
三卿伝史料	11	0.1	33	0.4
両公伝史料	397	3.7	167	2.1
行政文書	837	7.9	868	10.8
郡役所文書	94	0.9	107	1.3
行政資料	241	2.3	209	2.6
諸家文書	2,852	26.8	2,174	27.2
県史編纂所史料	45	0.4	49	0.6
一般郷土史料	64	0.6	141	1.8
その他特設文庫	25	0.2	186	2.3
複写資料	333	3.1	350	4.4
図書	48	0.5	31	0.4
その他	0	0.0	1	0.1
合計	10,649	100.0	8,007	100.0
S44年以來の累計	1,049,222	—	1,038,573	—

(6) 特別利用の状況

区分	特別閲覧	複写	出版物等 掲載	模造品 製作	貸出	レファレンス 件数
R03年度	33	773	283	1	10	603
(R02年度)	(29)	(742)	(269)	(0)	(3)	(656)

(7) 貸出

京都文化博物館	特別展「よみがえる承久の乱ー後鳥羽上皇 vs 鎌倉北条氏ー」 (山内家文書 3 点)
神戸市立博物館	特別展「伊能忠敬」 (毛利家文庫など 9 点)
山口県立美術館	特別企画「山口の武具・甲冑」 (毛利家文庫など 3 点)
山陽小野田歴史民俗資料館	企画展「山陽小野田のスポーツ史」 (行政資料 8 点)
山口県立山口博物館	特別展「江戸時代の旅と街道」 (毛利家文庫など 68 点)
下関市立歴史博物館	特別展「毛利 vs 大友ー海峡の戦国史 第 2 章ー」 (山田家文書など 6 点)
鳥取県立博物館	企画展「とっとりの乱世ー因幡・伯耆からみた戦国時代ー」 (山田家文書 2 点)
安芸高田市歴史民俗博物館	特別展「毛利元就」 (右田毛利家文書など 2 点)
広島城	企画展「輝元、広島城に入城す」 (県庁伝来旧藩記録など 6 点)
萩博物館	特別展「旅と人と萩と」 (毛利家文庫 3 点)

8 刊行物

令和 3 年度の刊行物

- ① 『山口県文書館研究紀要』第 49 号 (R04.3.30 発行) A5 判 164 頁
- ② 『文書館ニュース』第 56 号 (R04.3.30 発行) A4 判 8 頁

9 地方調査員

(1) 地方調査員会議

第 1 回 令和 3 年 7 月 7 日 県立山口図書館第 1 研修室およびオンライン

- ・調査員報告および意見交換
- ・報告 県史編さん事業と文書保存 専門研究員 河本福美

第 2 回 令和 4 年 3 月 3 日 県立山口図書館第 2 研修室およびオンライン

- ・調査員報告および意見交換
- ・報告 旧市町村役場文書の追跡調査について 専門研究員 吉田真夫

(2) 地方調査員の文書調査報告実績

地方調査員から延べ 17 日、136 時間の活動実績報告があった。

(3) 地方調査員名簿 (任期 令和 3.4.1～令和 5.3.31)

担当地域	氏名	担当地域	氏名
大島	高木泰伸	厚狭	若山さやか
玖珂	惠本洋嗣	豊浦	安富静夫
玖珂	正中克磨	大津	永井武司
都濃	佐伯 隆	阿武	樋口尚樹

10 広報・普及

(1) 広報活動

- ・『文書館ニュース』第56号（A4判8頁）を発行した。
- ・FacebookとTwitterによる館情報の発信を行った（tweet数97回）。

(2) 第16回中国四国地区アーカイブズウィーク

6月1日（火）～6日（日）に第16回中国四国地区アーカイブズウィーク「武芸・体育・スポーツと文書館資料 ～きたえる たのしむ たたかう ととのえる～」を開催した。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため対面形式での行事は実施できず、下記の通り、オンラインコンテンツの配信のみとした。

＜アーカイブズ展示オンライントーク＞6月1日～6日（YouTube配信／再生数364）

アーカイブズ展示で紹介予定であった資料につき下記の通り職員による解説を動画配信。

- ①甲州流（和田） ②武術伝書（和田） ③「上覧兵法」って、何だろう？（河本）
- ④剣術の稽古（河本） ⑤明治期山口県の相撲興行（山崎）
- ⑥明治期、華族の運動会（吉田） ⑦山口県体育大会のプログラム（戦前）（山本）
- ⑧農村の健康と運動（重田）

なお、6月5・6日閲覧室で実施予定であったアーカイブズ展示は中止した

＜SNS文書館案内＞6月1日～6日（Facebook・Twitter）

SNSを使って書庫内の資料の様子、文書館の利用方法などを紹介

＜歴史探究講座・動画配信＞6月16～30日（YouTube配信／再生数95）

「山口県のスポーツ『いま』『むかし』～近現代の体育・スポーツと文書館資料～」(講師：山本)の動画配信を実施。なお、5日に県立山口図書館レクチャールームで開催予定であった歴史探究講座については開催を中止した。

＜アーカイブズ歴史小話・動画配信＞6月16～30日（YouTube配信／再生数213）

- ①「江戸の殿様と武芸～徳山毛利家の場合～」(吉田)
- ②「幕末の諸隊力士隊と山分勝五郎」(山崎)
- ③「都市と農村のフィットネス」(重田)

上記の動画配信を実施。なお、6日に県立山口図書館レクチャールームで開催予定であったアーカイブズ歴史小話については開催を中止した。

(3) 資料小展示

閲覧室の入口に設置している展示ケースを使用して、以下の小展示を行った。

回	期間	展示題目	担当
1	4月	陶氏の発給文書(2)	和田
2	5月	臨画・臨書 ～お手本通りに描(書)く～	山本
3	6月	明治期山口県の相撲興行 ～河野家文書の紹介～	山崎
4	7月	お殿様、狩へ行く	吉田
5	8月	唐招提寺と萩藩	河本
6	10月	魅せる！ようこそ長門峡へ	浅川
7	11月	本と目録 ～多賀社蔵書の管理と利用～	重田
8	12月	毛利元就の自筆書状	和田
9	1・2月	囲碁・将棋の狂歌 ～本因坊算砂(さんさ)～	山本
10	3月	萩藩の張付師・表具師～藩の表具仕事を担った職人たち～	山崎

(4) 古文書入門講座（県立山口図書館研修室／オンライン Microsoft Teams）

初めてくずし字・古文書に触れる方を対象に 5～10 月の第 2 土曜日、午前はオンライン形式、午後は対面形式で開催した。受講者はオンライン形式 17 名、対面形式 15 名。なお、6 月、9 月はコロナウイルス感染拡大防止のため対面形式は開催を中止した。

実施内容は次のとおり。

日 程	主 題	講 師
5～10 月	古文書に慣れよう	山 本

(5) 古文書基礎講座（県立山口図書館研修室／オンライン Microsoft Teams）

古文書の基礎的な知識を習得したい方を対象に 5～10 月の第 4 土曜日、午前はオンライン形式、午後は対面形式で開催した。受講者はオンライン形式 15 名、対面形式 15 名。なお、5、8、9 月はコロナウイルス感染拡大防止のため対面形式は開催を中止した。

実施内容は次のとおり。

日 程	主 題	講 師
5～10 月	毛利家文庫 6 巡見 67「御初入国氷上山国分寺御参詣三田尻御船召初」を読む	重 田

(6) 古文書錬成講座（県立山口図書館研修室／オンライン Microsoft Teams）

古文書を独力で読むことをめざす方を対象に 5～10 月の第 2 土曜日、午前は対面形式、午後はオンライン形式で開催した。受講者はオンライン形式 15 名、対面形式 15 名。なお、6 月、9 月はコロナウイルス感染拡大防止のため対面形式は開催を中止した。

実施内容は次のとおり。

日 程	主 題	講 師
5～10 月	毛利家文庫 24 末家 45「寛政年間清末御取鎮一件」を読む	吉 田

(7) 古文書発展講座（県立山口図書館研修室／オンライン Microsoft Teams）

古文書を読む応用力、対応力を付けたい方を対象に 5～10 月の第 4 土曜日、午前は対面形式、午後はオンライン形式で開催した。受講者はオンライン形式 7 名、対面形式 12 名。なお、5、8、9 月はコロナウイルス感染拡大防止のため対面形式は開催を中止した。

実施内容は次のとおり。

日 程	主 題	講 師
5～10 月	村落・給人関係史料を読む	河 本

(8) オンラインでの古文書読み合わせ会の試験的实施（Microsoft Teams）

今後のオンライン開催を見据えて、オンラインでの古文書読み合わせ会を試験的に実施した（3 講座各 4 回、参加者はそれぞれ 7 名、7 名、3 名）。実施内容は次のとおり

日 程	主 題	講 師
11～2 月	毛利家文庫 24 末家 70（14 の 5）「徳山事記 四」を読む	吉 田
11～2 月	「東京日帳（明治 4 年）」を読む ー毛利元徳、東京での日々ー	山 崎
11～2 月	「大野毛利譜録」を読む ー萩藩一門の由緒を示す記録ー	和 田

(9) 授業で使える 文書館活用講座

県内の小・中・高校・特別支援学校の教員を対象に、学校教育に文書館資料を活用する契機を提供することを目的に、8月3～6日の4日間実施した。より参加しやすいものとするため、今年度から各コマを自由に選択できるようにした。受講者は計16名（全講座集計41名。内容な以下のとおり。

8/3	①明治・大正・昭和の刊行物（山本）	②近現代の山口県行政文書（山本）
8/4	③文書で見よう！江戸時代（吉田）	④戦国時代の文書に挑戦（和田）
8/5	⑤江戸時代の本と学び（河本）	⑥絵図・地図・古写真（山崎）
8/6	⑦絵図を片手にまちを歩こう（重田・山本）	⑧文書館の使い方（重田）

(10) SNS 上でのくずし字解説（「ちょこっとくずし字」）

初心者が古文書を学ぶ機会を提供することを目的に、昨年度に引き続き、SNS 上にくずし字解説「ちょこっとくずし字」を掲載した（12月～2月、計19回）。

(11) 第12回歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議

公文書館法（昭和62年法律第115号）および公文書管理法第34条（平成21年法律第66号）の趣旨に基づき、県及び県内の市町が保管する公文書及び地域に伝存する文書記録類を歴史資料として保存活用することに関して、県及び市町相互の連絡と協調を図り、もって行政の円滑な推進及び文化の発展に寄与することを目的として実施している。

今年度は2月2日「基礎自治体公文書館の現状と課題－公文書の評価選別・引継ぎ・保存－」をテーマに行い、大仙市アーカイブズの蓮沼素子氏に「基礎自治体におけるアーカイブズ設置と公文書管理の現状と課題－大仙市アーカイブズを事例として－」と題して御講演をいただくとともに、参加者は公文書のリスト選別演習を行った。市町・県等から18名の参加があった。

(12) 行政文書保存管理研修会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止された。

(13) 歴史講座ライブ配信の試験的实施

今後の歴史講座のオンライン開催を見据えて、オンラインでの歴史講座のライブ配信を試験的に実施した。

10/31	萩藩主毛利氏発給文書について－判物を中心に－	河本福美
1/9	戦国時代の大内氏の感状	和田秀作

(14) ウェブサイト

①令和2年度公開諸家文書13家・1,775点のデータをDBに追加した

②DBならびに「資料画像 New！」への画像データのアップ

「資料画像 New！」に絵はがき・古写真などの画像データ475件をアップした（計22回）。これを含めDBへ画像1,069件を追加した。

11 研究活動

(1) 研究実績（『山口県文書館研究紀要』第49号は『紀要』第49号と略記）

- ・山崎一郎
「野田神社の絵馬と山代 ー明治一桁代の民政と杉民治ー」（『山口県地方史研究』第125号）
「明治期毛利家編集所における『談話速記録』の作成 ー毛利敬親を語る『井上定亮翁談話』と『岡義右衛門翁談話』の紹介ー」（『紀要』第49号）
- ・和田秀作
「山口県文書館所蔵の中世文書について」（『紀要』第49号）
「史料紹介 手鑑『多々良の麻佐古』（2）」（『山口県立山口博物館研究報告』第48号）
- ・浅川 均
「長門峡が顕彰されたころ ー大正時代の名勝指定の向こうにー」（『紀要』第49号）
- ・山本明史
「山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー学校教育編（掲載資料一覧）ー」（『紀要』第49号）
「山口県産業技術センターの歴史をたどるー山口県工業試験場ー」（『山口県産業技術センター研究報告』第33号 川村宗弘との共著）
- ・吉田真夫
「徳山藩断絶要因解明の一試論 ー萩藩主毛利吉元の主張と徳山藩主毛利元次の実情ー」（『山口県地方史研究』第125号）
「徳山藩『江戸記録所』の職務と記録」（『紀要』第49号）
- ・河本福美
「近世防長の米について ー大唐米を中心にー」（『紀要』第49号）
- ・重田香澄
「近世多賀社における校割帳改についてー県庁伝来旧藩記録『山口多賀大神宮御文庫目録』の分析をとおしてー」（『紀要』第49号）
「『水左記』の研究ー康平七年九月～十一月ー」康平七年十月六日～三十日条
（『岐阜聖徳学園大学紀要』教育学部編61）
「『水左記』注釈（康平七年七月・八月）」康平七年八月一日～九日条
（『人文研究 大阪市立大学大学院文学研究科紀要』73）

(2) 講演・研究会等

- ・山崎一郎
第16回中国四国地区アーカイブズウィーク歴史小話「幕末の諸隊力士隊と山分勝五郎」
（6/6 オンライン配信）
山口県立博物館2021特別展「江戸時代の旅と街道」特別展講座4「萩藩の参勤交代について」
（8/22 オンライン配信）
岩国徴古館郷土史研究会講演「山口市野田神社の絵馬と山代～明治1桁代の民政と杉民治～」
（10/17）
- ・和田秀作
安芸高田市歴史民俗博物館シンポジウム毛利元就「大内氏からみた毛利元就の人物像について」
（11/20）
歴史講座ライブ配信テスト「戦国時代の太内氏の感状」
（1/9 オンライン配信）
- ・山本明史
第16回中国四国地区アーカイブズウィーク歴史探究講座「山口県のスポーツ『いま』『むかし』
～近現代の体育・スポーツと文書館資料～」
（6/5 オンライン配信）
- ・吉田真夫
第16回中国四国地区アーカイブズウィーク歴史小話「江戸の殿様と武芸～徳山毛利家の場合～」
（6/6 オンライン配信）

・河本福美

歴史講座ライブ配信テスト「萩藩主毛利氏発給文書についてー判物を中心にー」

(10/31 オンライン配信)

・重田香澄

第16回中国四国地区アーカイブズウィーク歴史小話「都市と農村のフィットネス」

(6/6 オンライン配信)

国立公文書館令和3年度アーカイブズ研修Ⅱ事例報告②「コロナ禍における山口県文書館の取組について」

(2/3 オンライン配信)

Ⅲ 令和4年度の計画

1 業務

(1) 保存対策

重要文化財山口県行政文書の修復

(2) 刊行物

『山口県文書館年報（令和3年度）』（デジタル刊行）

『山口県文書館研究紀要』第50号の刊行

『文書館ニュース』第57号の発行

(3) 普及活動

①アーカイブズウィーク

会期 令和4年6月1日～7日

形式 オンライン

対象 一般

②古文書講座

古文書入門講座（定員：30名）

会期 令和3年7月～4年2月の第2土曜日の午前 計8回

形式 オンライン（Zoom）

対象 一般

古文書基礎講座（定員：30名）

会期 令和3年7月～4年2月の第4土曜日の午前 計8回

形式 オンライン（Zoom）

対象 一般

古文書錬成講座（定員：30名）

会期 令和3年7月～4年2月の第2土曜日の午後 計8回

形式 オンライン（Zoom）

対象 一般

古文書発展講座（定員：30名）

会期 令和3年7月～4年2月の第4土曜日の午後 計8回

形式 オンライン（Zoom）

対象 一般

古文書輪読会

会期 令和3年5月～4年3月の隔月第2・第4土曜日（4講座各6回程度）

形式 オンライン（Zoom）

対象 一般

③授業で使える 文書館活用講座（定員：8名）

会期 令和3年8月2～5日

会場 文書館・県立山口図書館研修室等

対象 県内の小・中・高・特別支援学校の教員

④歴史講座

開催 8・10・12・3月

形式 オンライン（YouTube）

対象 一般

⑤行政文書保存管理研修会（対象：行政機関の担当者）

⑥歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議（対象：行政機関等の担当者）

(4) 山口県公文書管理条例検討会事務局

(5) その他

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(全史料協) 大会・研修委員会事務局(令和3～4年度)

2 職員(令和4.4.1～)

所属	氏名	主な担当業務
館長(非常勤)	吹屋哲夫	館務統轄
副館長	山崎一郎	業務総合調整・館内管理・予算決算
専門研究員	和田秀作	諸家文書に関すること
〃	浅川均	行政文書・行政資料に関すること
〃	山本明史	行政文書に関すること
〃	吉田真夫	藩政文書に関すること
〃	河本福美	行政資料に関すること
(兼)総務管理GL	友景忠孝	総務会計等
(兼)主任	山田晃広	〃
会計年度任用職員	重田香澄	閲覧利用・広報・普及に関すること
〃	末廣美都子	閲覧提供業務の補助、文書整理の補助
〃	森田恭代	〃

3 地方調査員(任期 令和3.4.1～令和5.3.31)

担当地域	氏名	担当地域	氏名
大島	光田伸幸 (令和4.4.1～)	厚狭	若山さやか
玖珂	惠本洋嗣	豊浦	安富静夫
玖珂	正中克磨	大津	永井武司
都濃	佐伯隆	阿武	樋口尚樹

4 当初予算(単位:千円)

事業費	予算額(千円)	事業概要
文書館運営費	965	運営関係費
文書保存整理刊行費	293	文書の整理等
文化事業費	2,194	古文書講座・文書の修復等
合計	3,452	